

Disclosure

情報開示



ANNUAL
REPORT
2025

アニュアルレポート



社会福祉法人光仁会富竹の里

KOUJINKAI TOMITAKENOSATO

KOUJINKAI TOMITAKENOSATO ANNUAL REPORT 2025

CONTENTS

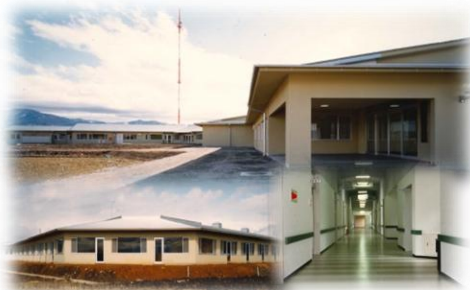
法人沿革	Corporation history	…	1
軌跡を辿る	Trace the trajectory	…	2
さらなるお客さま満足のために	For further customer satisfaction	…	3
法人概要	Corporation profile	…	4
経営理念	Management philosophy	…	5
倫理行動規範	Code of business conduct and ethics	…	5
持続可能な開発目標	SDGs (Sustainable Development Goals)	…	6
ニュース & トピックス	News & Topics	…	7
1	取り巻くリスクと機会への対応	Responding to risks and opportunities	… 7
2	働きやすい職場環境整備	Comfortable work environment	… 14
3	サービス品質の維持・向上	Maintaining and improving service quality	… 15
4	人材育成	Human resource development	… 16
5	地域社会とのつながり	Connection with the local community	… 18
6	地域貢献	Community contribution	… 19
7	危機管理体制	Crisis management system	… 20
8	看取り介護	End-of-Life care	… 23
データ	DATA	…	26
財務ハイライト	Financial highlights	…	29
公正な事業慣行	Fair business practices	…	30
各事業所のトピックス	Topics of each business office	…	32

法人沿革 Corporation history

起源 Origin

1986年（昭和61年）に「社会福祉法人光仁会富竹の里」は誕生しました。当時は、戦後の医療技術の進歩、食生活の向上、国民皆保険制度の確立などにより、人生80年時代を迎え、世の中は高齢化社会の時代。長野市においても高齢者数は約3万6千人と人口の約10%を超え、認知症や寝たきり高齢者の介護を真剣に考えなければならないときでした。このような状況に鑑み、特別養護老人ホーム富竹の里を建設、運営し、社会的要請にこたえ、老人福祉の向上に寄与することを目的として法人が設立されました。

CHAPTER I 1986～



社会福祉法人光仁会富竹の里の設立

特別養護老人ホーム富竹の里、
富竹の里ショートステイホームの開設

CHAPTER II 1990～



在宅福祉事業への飛躍

デイサービスセンター、
ホームヘルプサービスの開始
(水戸黄門様出演者御一行様来訪 1993.3)

CHAPTER III 2000～



介護保険制度施行

地域密着型施設、
地域包括支援センターの開設
富竹の里デイサービスセンターの新築移転

CHAPTER IV 2016～



地域包括ケアに向けて

地域福祉の発展に全力をささげていただいた方々への感謝の念を捧げつつ、新たな時代に向かって歩み始めています。

軌跡を辿る Trace the trajectory

創設期	昭和	58年	4月	老人ホーム建設構想検討開始
		60年	4月	法人設立準備委員会発足
	61年	7月	社会福祉法人光仁会富竹の里設立認可	
		8月	特別養護老人ホーム富竹の里建設着工	
		62年	4月	特別養護老人ホーム富竹の里開所（定員50名）
	63年	7月	短期保護事業開始（定員4名）	
		2月	在宅寝たきり老人入浴サービス事業開始	
		4月	社会福祉士及び介護福祉士法施行	
推進期	平成	2年	4月	長野市古里デイサービスセンター開所
			6月	社会福祉関係8法の改正
	3年	4月	短期保護事業定員2名増（6名） 「家庭奉仕員」が「ホームヘルパー」に改称	
		5年	5月	介護福祉機器貸付事業開始
	6年	8月	富竹クリニック開院	
		7年	12月	短期保護事業定員2名増（8名）
	9年	10月	10月	長野市在宅介護支援センター富竹の里開所
			11月	富竹の里家族会結成
	10年	6月	富竹の里ホームヘルプセンター開所	
	充実期	平成	12年	2月
9月				特別養護老人ホーム富竹の里定員2名増（52名） 富竹の里ショートステイホーム定員2名減（12名） 富竹の里デイサービスセンター定員5名増（25名）
13年		4月	苦情解決相談委員設置	
		6月	評議員会制度導入	
14年		6月	富竹の里デイサービスセンター定員5名増（30名）	
		11月	富竹の里デイサービスセンターホール増設	
16年		4月	4月	富竹の里和み開所（定員20名） 特別養護老人ホーム富竹の里定員4名減（48名） 富竹の里ショートステイホーム定員4名増（16名）
			6月	富竹の里デイサービスセンター定員3名増（33名）
変革期		平成	18年	4月
	20年			4月
	10月	10月	介護付有料老人ホーム上松ホーム開所（定員15名）	
		23年	4月	富竹の里、富竹の里和み スプリングラー運用開始
	24年	6月	介護付有料老人ホーム上松ホーム定員9名増（24名）	
	25年	10月	10月	長野市地域包括支援センター富竹の里開所
			27年	3月
	28年	7月	7月	介護予防事業（生活らくかる運動塾）開始
			1月	旧デイサービスセンターを富竹の里いきいきセンターへ名称変更
	4月	4月	社会福祉法改正	
		10月	富竹の里デイサービスセンター定員2名増（35名）	
	29年	1月	通所型基準緩和サービス指定（定員15名）	
	30年	4月	4月	富竹の里大規模改修工事・多床室プライバシー保護改修工事竣工 介護予防（通所、訪問）が長野市の実施する総合事業へ移行
			令和	1年
	令和	3年	9月	富竹の里定員4名増（56名） 富竹の里ショートステイホーム定員4名減（8名）
	令和	4年	3月	富竹の里デイサービスセンター 通所型基準緩和サービス廃止
	令和	4年	7月	富竹の里ホームヘルプセンター廃止
令和	6年	11月	11月	富竹の里デイサービスセンター日曜日休業 富竹の里看取り空間整備工事竣工

さらなるお客さま満足のために For further customer satisfaction

特別養護老人ホーム富竹の里

富竹の里ショートステイホーム



特別養護老人ホーム富竹の里は、4人部屋に間仕切りの建具を設置し、
プライバシーに配慮された施設です。
個室の特養より、低額な料金でご利用いただけます。
より一層、皆様のお役に立てる施設を目指します。



地域を支える社会福祉事業を実践します
Social welfare service to support communities

法人概要 Corporation profile

法人名	社会福祉法人光仁会富竹の里（こうじんかいとみたけのさと）
所在地	〒381-0006 長野県長野市大字富竹字堰下1621番地（法人登記） TEL（026）296-7383（代） FAX（026）296-7384
設立	1986年（昭和61年）8月28日
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
事業内容	社会福祉事業
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> 【第一種社会福祉事業】 ・特別養護老人ホーム事業 【第二種社会福祉事業】 ・老人短期入所事業 ・老人デイサービス事業 【公益事業】 ・居宅介護支援事業 ・有料老人ホーム上松ホームを運営する事業 ・特定施設入居者生活介護事業 ・長野市地域包括支援センター事業 ・介護保険法に基づく第一号通所事業

特別養護老人ホーム富竹の里

TEL026-296-7383 FAX026-296-7384

特別養護老人ホーム富竹の里和み

TEL026-296-7705 FAX026-296-7384

介護付有料老人ホーム上松ホーム

TEL026-237-1660 FAX026-237-1661

長野市地域包括支援センター富竹の里

TEL026-295-7780 FAX026-296-8025

富竹の里ショートステイホーム

TEL026-296-7383 FAX026-296-7384

富竹の里デイサービスセンター

TEL026-296-2867 FAX026-296-7384

光仁会富竹の里介護支援センター

TEL026-296-8004 FAX026-296-7384



経営理念 Management Philosophy

私達は、

地域に開かれた信頼される施設づくりを目指します。

利用者の人権を尊重し、明るく健康的でやすらぎのあるサービスの提供を目指します。



光仁会の「**K**」は「**光**」を意味し、富竹の里の「**T**」は「**人**」を意味しています。光仁会の光（羅針盤）が、人（ご利用者、ご家族、地域住民、職員）の心に届く暖かい光（かがやき）を放っています。また、人の足元をてらし道筋を示しています。光仁会の名称は、「愛と輝きをもととして互いに慈しみあう会」という意味です。

倫理行動規範 Code of business conduct and ethics

サービスに関すること

- すべての方に対し、平等で公平な介護サービスに努めます。
- 思いやりをもって、私たち一人ひとりができることを精一杯行います。
- 常に自己研鑽に励み、根拠に基づいた安全で効率的な介護サービスに努めます。
- 専門職として高い倫理観を持って、職務に専念します。

ご利用者の保護等に関すること

- 人権・権利を尊重します。
- 知り得た事柄の守秘義務を厳守し、個人情報を適切に取り扱い保護します。
- 原則として身体拘束を行いません。
- 相談苦情は、真摯に受け止め、迅速・丁寧・公正に対応します。

チームワークに関すること

- 多様性を尊重し、相手の身になって、相手が不快・不安となる言動を慎みます。
- 簡潔で明確な言い方で相手に伝えます。
- 確認・連絡・報告を徹底します。
- 社会・社内のルールを守ります。
- 知識やアイデアを共有して、お互いの成長を目指します。

環境に関すること

- 省資源・省エネルギー活動を推進します。
- 5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）の基本行動により、業務の効率化・質の維持向上・安全管理・教育訓練等の推進に努めます。

持続可能な開発目標 SDGs (Sustainable Development Goals)



“SDGsと富竹の里” 持続可能な開発目標



SDGsとは、
すべての人たちが幸福に暮らせるための
世界共通の目標であり、
光仁会富竹の里の思いと同じです。
新たな価値観で中期経営計画を進めます。

光仁会富竹の里（私たち）の5つの思い

【使命】

- 社会的要請にこたえる
- 福祉の向上に寄与する

【理念】

- 地域に開かれ信頼される
- 人権の尊重
- 明るく健康的で安らぎを

光仁会とは「愛と輝きをもととして互いに慈しみあう会」

光仁会富竹の里の5つの使命に重なる「SDGs17」の目標

【国連の目標】				
すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	働きがいも経済成長も	住み続けられるまちづくりを	パートナーシップで目標を達成しよう
【富竹の里の思い】				
明るく健康的で安らぎを	地域に開かれ信頼される	社会的要請にこたえる	福祉の向上に寄与する	互いに慈しみあう
【富竹の里が推進していく活動例】				
<input type="checkbox"/> 医療法人と連携した地域貢献活動 <input type="checkbox"/> サービスの質の向上 <input type="checkbox"/> 新たな福祉医療体制	<input type="checkbox"/> 研修・研究発表・資格取得等の支援 <input type="checkbox"/> 環境改善できる職場 <input type="checkbox"/> 関係機関と連携 <input type="checkbox"/> 地域への教育・学習・相談支援	<input type="checkbox"/> 健康経営 <input type="checkbox"/> 地域の雇用に貢献 <input type="checkbox"/> 働きやすい職場環境 <input type="checkbox"/> くるみん認定	<input type="checkbox"/> 地域共生社会・公益的な取り組み <input type="checkbox"/> 非常災害対策	<input type="checkbox"/> 行政・他団体・住民との連携 <input type="checkbox"/> 目標やターゲット等と親和性の高い事業実施関係者への協力

その他「SDGs17」の目標

【国連の目標】					
貧困をなくそう	飢餓をゼロに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	産業の技術革新の基盤をつくろう
【富竹の里が推進していく活動例】					
<input type="checkbox"/> 社会福祉法人減免	<input type="checkbox"/> 非常食や水の備蓄	<input type="checkbox"/> くるみん認定	<input type="checkbox"/> カーボンニュートラル・脱炭素	<input type="checkbox"/> 施設設備の近代化 <input type="checkbox"/> カーボンニュートラル・脱炭素	<input type="checkbox"/> ICT・IOT・AI等でDX化
【国連の目標】					
人や国の不平等をなくそう	つくる責任使う責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に
【富竹の里が推進していく活動例】					
<input type="checkbox"/> くるみん認定	<input type="checkbox"/> 建物設備の計画的な改修と建て替え	<input type="checkbox"/> 非常災害対策 <input type="checkbox"/> 災害派遣福祉チーム員の養成・派遣 <input type="checkbox"/> カーボンニュートラル・脱炭素	<input type="checkbox"/> カーボンニュートラル・脱炭素	<input type="checkbox"/> カーボンニュートラル・脱炭素	<input type="checkbox"/> ガバナンス・コンプライアンス体制の整備 <input type="checkbox"/> 包摂的な制度への協力

* カーボンニュートラル：温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること

* DX：「Digital Transformation」進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること

1

取り巻くリスクと機会への対応
Responding to risks and opportunities

4 YEARS
OF 
ACTION

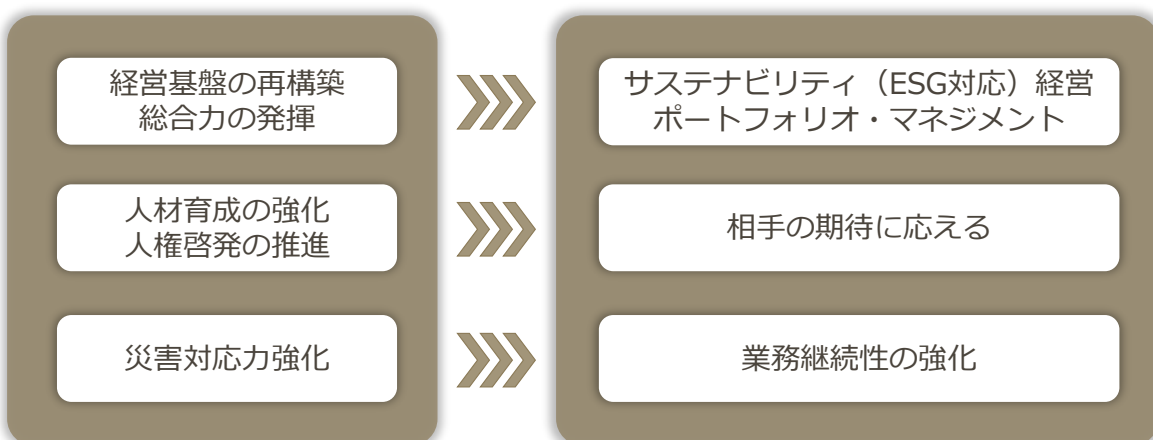
中期経営計画 2023

創造と進歩 Creation & Progress

不確実性が高い時代においても、当法人独自のインテリジェンスを駆使しながら、時代の先を読み、変化に対応できるための指標です。2023年4月～2027年3月の4年計画である中期経営計画を作成しました。計画に沿って実行し、進捗状況を確認しながら、ビジョンを実現し、パーパス（存在意義）を果たしてまいります。



中期経営計画の骨子 Outline of business plan



ビジョン実現に向けた重要目標達成指標／年 Key Goal Indicator

法人事業活動資金収支差額	4千万円以上	地域に役立つ事業を通じて、健全な利益の増大を図ります
法人利益率	6.0%以上	「収入最大、支出最小」で、利益率の引き上げを図ります
入所系事業所	98.0%	4億8千1百万円
在宅系事業所	80.0%	1億1千7百万円
居宅介護支援	介護給付1,300件、介護予防給付120件、総合事業70件	
介護予防支援	介護予防給付1,700件、総合事業1,500件	

中期経営計画 ビジョン実現に向けた計画3年目の目標と進捗状況

【法人事務局】

達成目標	具体的アクション	3年目の進捗	達成度	所感・今後の課題等
コスト削減	相見積り	<ul style="list-style-type: none"> ・当初見積り総額より、940,354円削減(約29%減) ・累計削減額3,415,401円 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・3社以上の相見積りが効果的 ・質とのバランスで実施継続
	代替品調査	48,180円削減 <ul style="list-style-type: none"> ・インボス手袋他衛生用品の購入先変更 ・累計削減額180,947円 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・物事の惰性化の見直しが重要 ・中古品の検討も並行して実施
	補助金獲得	総額：14,810,494円(内訳) <ul style="list-style-type: none"> ・特定求職者雇用開発助成金 1,100,000円 ・結核健康診断事業 57,618円 ・社会福祉施設等価格高騰対策支援補助金 1,306,000円 ・令和6年度長野県介護人材確保・職場環境改善等事業補助金 2,963,087円 ・インフルエンザ予防接種補助金 62,000円 ・長野県介護分野の職員の賃上げ等支援事業補助金 9,321,789円 累計額：46,876,269円	A	<ul style="list-style-type: none"> ・使える補助金施策のチェック ・補助金の申請代行業者の活用 ・時間及びコストの削減効果
	空調設備更新	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年3月更新工事開始 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・当初は補助金利用で支払総額が58,920,000円の見積りだった ・機器の再選定や入札実施等により総額33,935,000円となった
	節電	<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体で、前年度比33,383kWh増加(前年度比105.2%) ・累計削減185kWh(前年度までの累計は33,568kWh削減) 	-	<ul style="list-style-type: none"> ・使用料金は、法人全体前年度比1,480,891円削減 ・暑くなる時期及び寒くなる時期が昨年より早かった ・7～8月及び1～2月の電力使用方法について検討が必要 ・全社的な節電意識の継続が課題
	業務効率化	ICT化推進	<ul style="list-style-type: none"> ・特養及び和みのシフト作成自動化 ・勤怠管理のICT化 	B
	業務標準化	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所職員の業務掌握 ・業務ごとの所要時間計測 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT化に連動して業務標準化を推進中
	社用車の運用見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・全車リース化(リースバック)検討中 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・見積り依頼中

判定区分		判定基準
A	達成・概ね達成	目標達成または達成率80%以上
B	改善	目標設定前より改善(達成率50%以上80%未満)
C	やや改善	目標設定前より改善(達成率10%以上50%未満)

中期経営計画 ビジョン実現に向けた計画3年目の目標と進捗状況

【特別養護老人ホーム富竹の里・富竹の里和み、富竹の里ショートステイホーム】

達成目標	SDGs	行動項目	具体的アクション	3年目の進捗	達成度
コスト削減	7 12 13 14 15	ペーパーレス	出状書類チェック 帳票中止、出力変更 資料 原則A4/1枚 資料電子化	ケア帳票,研修資料,家族通知等 約80,000円/年 削減 (切手代等の通信費含む)	B
		節電	照明ON/OFF	管理者ラウンドで意識向上	A
			冷暖房ON/OFF 温度設定管理	管理者ラウンドで意識向上	B
		削減意識醸成	相見積り、値引き 消耗品等金額表示	富竹の里：410,539円削減 富竹の里和み：106,208円削減	A
利用率 特養：98% 短期：80%	3 4 8 9 11 17	入所空床減少	広報活動 ホームページ更新	63件（42件） （括弧内前年度）	A
			他機関との連携	地域包括・老健への営業 ・12事業所訪問 ・パンフレット等50部配布 入所待機者現況調査 ・2回実施	B
			事前契約	富竹の里：6件 富竹の里和み：3件	A
			2週間以内入所	富竹の里：17.7日（16.5日） 富竹の里和み：11.6日（28.2日） （括弧内前年度）	A
		入院空床減少	退院許可後翌日受入	体制整備	B
			口腔衛生管理	歯科衛生士との連携・加算算定	A
			体調管理 嘱託医等との連携 ACP推進	入院日数（括弧内前年度） 富竹の里：237日（166日） 富竹の里和み：55日（79日）	A
			介護事故・感染予防	効果測定、モニタリング	B
		減収見える化	空床・入院減収額	全職員へ周知	B
		サービス質 維持・向上	4 8 10 16 17	人材育成	資格取得
効果的研修	P14,16,19,20,22,23,25参照				B
希望実現	P17,24参照				A
家族参加担当者会議	富竹の里：26件（30） 富竹の里和み：14件（5） （括弧内前年度）				A
ケア研究	P25参照				A

判定区分		判定基準
A	達成・概ね達成	目標達成または達成率80%以上
B	改善	目標設定前より改善（達成率50%以上80%未満）
C	やや改善	目標設定前より改善（達成率10%以上50%未満）

中期経営計画 ビジョン実現に向けた計画3年目の目標と進捗状況

【上松ホーム】

達成目標	SDGs	行動項目	具体的アクション	3年目の進捗	達成度	
コスト削減	6 7 12 13 14 15 16	ペーパーレス	嘱託医との連携	・バイタルリンクの活用	A	
			ご家族への通知	・オクレンジャーの活用	A	
			職員間の送り方法	・文房具を廉価品に切替	A	
		節電・節水等	節電		・照明ON/OFF 照明数削減 ・冷暖房ON/OFF 温度設定管理 ・ポット食洗機の効率的な使用 【使用電力】 前年度比 4,892kWh増加 452,392円削減	A
				節水	・水量調節（こまめに止める） ・食洗機の効率的な使用 【水道代】 前年度比 433,545円削減	A
		ごみの捨て方	・ごみ削減、小さくして捨てる ごみ袋削減、分別 【ごみ収集代】 前年比 5,120円削減	A		
		削減意識醸成	相見積り、値引交渉 消耗品等使用量管理 物品購入の適正化	・423,610円削減	A	
消耗品等金額表示	・一覧表の作成		C			
利用率98%	3 4 8 9 11 17	入所空床減少	営業（情報発信） 他機関との連携 待機者整理 事前契約 2週間以内入所	・広報誌発行：6回（0） ・ホームページ更新：55回（0） ・空床数：98日（939） ・営業数：7件（0） ・待機者数平均：7名（3） ・事前契約数：1件（0） ・入居までの平均日数：16.3日 （括弧内前年度）	B	
			体調管理	医療と介護の連携	B	
		入院空床減少	退院許可後翌日受入	・柔軟な受け入れ態勢の構築 ・入院空床：165日（23日減）	A	
サービスの質等の向上	4 8 10 16 17	人材育成	環境整備	・玄関や共有場所、庭の手入れ	B	
			業務改善（5S活動）	・整理整頓/業務分掌	B	
			研修会の充実	・外部研修：11回（8回増）	B	
			利用者家族等の希望 実現	・担当者会議：5件（5件増） ・クラブ、外出、行事の充実 ・看取り支援の推進	C A	

判定区分		判定基準
A	達成・概ね達成	目標達成または達成率80%以上
B	改善	目標設定前より改善（達成率50%以上80%未満）
C	やや改善	目標設定前より改善（達成率10%以上50%未満）

中期経営計画 ビジョン実現に向けた計画3年目の目標と進捗状況

【富竹の里デイサービスセンター】

達成目標	SDGs	行動項目	具体的アクション	3年目の進捗	達成度
稼働率80%	3 4 8 11	サービスの質 向上	地域に根差した活動	・3地区の集客に注力 ・新規契約：前年比4件増	B
			空き情報の提供 お試し前の事前訪問	・新規受付時の情報収集徹底 ・PTによる家屋調査/会議同行	B
			セラピスト持続雇用 加算管理の適正化	・管理システムの見直し/検討	A
			重度者の積極的受入	・中重度者30%以上達成	A
			対地域の取り組み	・外部専門職との企画立案	A
			職業倫理の醸成 人材育成	・組織力強化 ・研修の担当制の検討	B
			人材確保 モチベーションUP	・有給休暇取得促進平均12.5日	B
		情報提供	ホームページの活用 利用状況の報告 見学者の受入 空き情報の提供	・広報誌発行：12回 ・ブログアップ53件 ・相談員による適時的確な実施 ・見学等の受入:10件 ・空き情報FAX:15回	A
		運営見える化	稼働実績の見える化 集計データの細分化	・各種データの再集計 ・業務分掌の作成 ・ビジョン2030	B
			“対目標値”の意識	・対策と目標値の再設定	B
コスト削減	3 8 17	整理整頓	5 S 活動	・環境業務連動の整理整頓 ・業務分掌及び分担当の整備	A
		適切な送迎	送迎ルート見直し 適切な車両整備	・臨機応変で効率的な実施	A
		削減意識醸成	節電	・空調点検整備	A
			印刷物の削減	・制作広報等による印刷物増加	B
			相見積り等の徹底	・適時的確な業者選定 ・229,402円削減	B
非常時及び 災害時対策 の構築	4 7 11	地域との連携	地域防災訓練参加	・長沼地区の防災訓練に参加	B
		適切な備え	実効性のある訓練	・利用者参加型訓練への課題	C
		マニュアルの 見直し	非常災害・感染症 BCP見直し	・BCPとマニュアルの更新 ・研修実施	B

判定区分		判定基準
A	達成・概ね達成	目標達成または達成率80%以上
B	改善	目標設定前より改善（達成率50%以上80%未満）
C	やや改善	目標設定前より改善（達成率10%以上50%未満）

中期経営計画 ビジョン実現に向けた計画3年目の目標と進捗状況

【光仁会富竹の里介護支援センター】

達成目標	SDGs	行動項目	具体的アクション	3年目の進捗	達成度
居宅支援 給付UP	3 4 8 11 17	新規契約	他機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・病院-医療機関-老健-居宅-包括との連携 ・担当件数の適正な管理 	A
		加算算定	初回加算 入院時情報提供加算 退院退所加算 通院時情報連携加算	<ul style="list-style-type: none"> ➡54回 ➡33回 ➡11回 ➡2回 	A
		サービスの質 向上	専門的・各種研修 自己研鑽・人材育成 他機関との連携 健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の実施と参加(14回/年) ・包括、地域、民生児童委員との連携と相談 ・社会資源の紹介と活用 	B
		運営状況の 見える化	給付実績の見える化 “対目標値”の意識	<ul style="list-style-type: none"> ・経営状況の全職員への周知 ・居宅介護支援及び予防マネジメント実績の回覧 ・ケアマネ別プラン作成数表示と常勤換算算出値の回覧 	A
コスト削減	3 8 17	整理整頓	5S活動	<ul style="list-style-type: none"> ・不要物の管理 ・使用可能品のリユース ・環境整備 ・気づいたら即座に行動 ・ごみの減量 	A
		ペーパーレス	紙媒体（提供票等） の電子化とその送信	<ul style="list-style-type: none"> ・提供票等はPCから送信 ・実績はFAX受信 ➡1か月250枚使用 ・ケアランダー連携システム導入後 ➡約3,000枚/年 削減見込み 	A
		印刷物削減	不要な書類の削減 カラー印刷の制限 裏紙の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー両面集約印刷 ・2色刷り 	A
		節電	無理のない節電	<ul style="list-style-type: none"> ・蛍光灯6本削減 ・冷暖房の時間設定と温度設定 ・電源ON/OFF（スイッチの設置） ・夏季（3か月）電気ポット中止 ➡各自水筒持参 	A
		削減意識醸成	削減実績の見える化	<ul style="list-style-type: none"> ・伝言メモ付箋中止➡裏紙変更 ・自転車の活用（ガソリン削減と健康維持と増進） 	A
効率化	3 4 8 17	ICT機器の 導入検討	ほのぼのタブレット リモートの可否検討 ケアラン連携システム検討 バ イルリッ ク等医療連携 システム導入とその活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ほのぼのタブレット及びリモートワーク保留 ・チャットワーク等の医療連携システム活用 ・バ イルリッ ク医療連携システム活用 	B

判定区分		判定基準
A	達成・概ね達成	目標達成または達成率80%以上
B	改善	目標設定前より改善（達成率50%以上80%未満）
C	やや改善	目標設定前より改善（達成率10%以上50%未満）

中期経営計画 ビジョン実現に向けた計画3年目の目標と進捗状況

【長野市地域包括支援センター富竹の里】

達成目標	SDGs	行動項目	具体的アクション	3年目の進捗	達成度
コスト削減	7 12 13 14 15	ペーパーレス	5 S 活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書庫等の整理整頓 ・ 不要物の廃棄 ・ 適切な設備更新での環境整備 	A
		節電	無理のない節電	照明ON/OFF	A
				冷暖房ON/OFF 温度設定管理 ストーブ台数の見直し 印刷機の節電モード設定	A
		削減意識醸成	相見積りの徹底 灯油量のチェック	27,600円削減 ストーブ台数見直しで灯油量減 ➡前年比6,218円削減	B

判定区分		判定基準
A	達成・概ね達成	目標達成または達成率80%以上
B	改善	目標設定前より改善（達成率50%以上80%未満）
C	やや改善	目標設定前より改善（達成率10%以上50%未満）

2

働きやすい職場環境整備 Comfortable work environment



チームケア



「従業員満足なくして顧客満足なし」

職員一人ひとりが誇りと働きがいを持ち、安心して能力を最大限発揮できる職場環境づくりを進めています。

ワーク・ライフ・バランスの推進とダイバーシティの尊重を通じて、人材の確保・定着と新たな価値創造の実現を目指します。

一般事業主行動計画策定

職員が仕事と子育てを両立させることができ、全職員が働きやすい環境を作ることによって、個々の職員の能力を十分に発揮できるよう計画を作成しています。

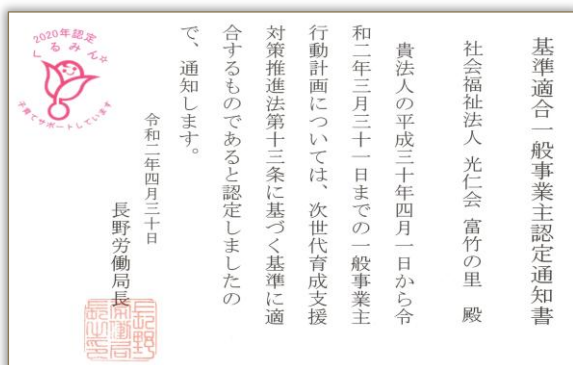
【目標】

男性職員の育児休業または子の看護休暇等の1名取得を目指し、再度各制度の周知を徹底し、目標達成に向けて取り組みます。

○育児休業を取得した職員から育児休業中の体験談収集

○朝礼等を通じて育児休業の体験談を発表し、育児休業制度の理解と取得促進の強化

くるみん認定



職場でのハラスメントの防止に向けて



働きやすい職場環境の推進等を目的に、ハラスメント防止研修会を開催しました。

規則の変更

法改正等に対応するための規則変更

- 就業規則
- 給与規定
- 旅費規程

各種休暇の取得状況

- 年次有給休暇 (約 1 1.3 日)
- 子の看護休暇 (1 0 0 %)
- 男性育児休業 (2 人)

3

サービス品質の維持・向上 Maintaining and improving service quality



法令遵守



社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。
(定款)

品質方針書の作成と伝達

理念や倫理行動規範、業務の基準などが記され、サービスの質向上に取り組むための冊子「品質方針書」を制作し、雇用形態に関わらず全スタッフに配布しました。また、職員研修や新規職員採用時等には本書をテキストとして使用し、職員間で統一できるよう取り組みました。



苦情解決第三者委員会

古里・柳原・長沼の3地区の民生児童委員にご協力いただき、ご利用者やご家族からの相談・苦情等に対応する体制を整えています。

1年間の相談・苦情・介護事故・感染症等の報告を行い、より質の高い、ご利用者にご満足いただけるサービスの提供を目指しています。

顧客満足度アンケート実施

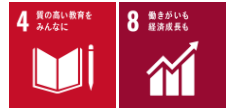
毎年、満足度の維持・向上の取組みとして、[満足度アンケート](#)を実施しています。安全と尊厳の保持、サービスの質確保、職員の負担軽減を継続的に取り組みます。



事業所名	区分	信頼性	応答性	確実性	共感性
特養 富竹の里	満足～やや満足	96.9%	96.9%	96.9%	96.9%
	不満～やや不満	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%
	未記入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特養 富竹の里和み	満足～やや満足	90.0%	90.0%	100.0%	90.0%
	不満～やや不満	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%
	未記入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
短期入所	満足～やや満足	100.0%	100.0%	100.0%	90.9%
	不満～やや不満	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%
	未記入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
通所介護	満足～やや満足	90.8%	90.8%	90.8%	90.6%
	不満～やや不満	1.5%	1.5%	1.5%	1.6%
	未記入	7.7%	7.7%	7.7%	7.8%
有料 上松ホーム	満足～やや満足	100.0%	100.0%	94.4%	94.4%
	不満～やや不満	0.0%	0.0%	5.6%	5.6%
	未記入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

4

人材育成 Human resource development



キャリアアップ



社会経済情勢の変化に柔軟かつ機動的に対応できる法人であることが重要です。

そのため、職員一人ひとりの資質向上を図り、持てる可能性と能力を最大限に発揮できるよう取り組みを推進しています。

また、他職種やご家族、地域住民の皆さまなど、多様な人々との交流を通じて、相互に学び合い高め合う機会を大切にしています。

第60回関東ブロック老人福祉施設研究総会 東京大会



「介護・福祉の大変革2025」をテーマに開催され、持続可能な社会を作るために4つの視点で学びました。

- ①ICTやロボット技術の活用
- ②働きやすい職場づくり
- ③多様な人材の活躍
- ④SDGsに応じた経営

人手不足や経営環境の変化が進む中、従来の枠組みにとらわれない発想と実践が求められていることを強く実感しました。

他事業所の先進的な取り組みや工夫は多くの示唆に富み、今後の運営やケアの質向上に活かしていく必要があります。

発信力と吸収力を高めることが福祉の継続には不可欠であり、全国で尽力する仲間の存在が大きな励みとなりました。

第52回国際福祉機器展&フォーラム ～クリエイティブな未来を拓く～

業務の効率化やICTの積極的な活用、AIの普及など、介護業界にも大きな変化への対応が求められる時代となりました。

限られた人材の中で、サービスの質等を維持しながら、多様化するニーズや課題に向き合っていくことが、地域福祉の中核を担う社会福祉法人としての重要な役割です。

5年後、10年後の姿を見据えた一歩として、各事業所から主任や担当者が参加しました。

「理想と現実の違い」かもしれませんが、「理想を描くこと」「夢を持つこと」は、未来を切り拓く原動力になります。

“夢なき者に成功はなし”

その想いを共有し、これからの実践へとつなげていきます。



介護者教室 ～人生の最期をどのように迎えたいか～

長野市地域包括支援センター富竹の里では、地域の方を対象に「介護者教室」を開催しています。

第一部では、地域包括ケア推進課より講師をお招きし、「人生会議」(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)についてご講演いただきました。

人生の最期をどのように迎えたいか。
誰もが大切なことだと分かっているが、「縁起でもないから」と、なんとなく避けてしまっているのではないのでしょうか。

今回は「もしバナゲーム」を活用し、そうした難しいテーマについて考えたり、参加者同士で話し合ったりすることができました。

第二部では、他法人の理学療法士による足指測定を実施しました。
自身の足の状態を客観的に把握することで、健康管理への意識を高める機会となりました。

ご参加いただきました皆さま、誠にありがとうございました。



男性のための料理 & 喫茶・栄養相談会

地域包括支援センターの企画で、「男性のための料理教室」を実施しました。

地域の管理栄養士を講師に迎え、タンパク質をしっかりと摂れるメニューを実際に調理しながら学びました。

栄養の偏りへの気づきにもつながり、参加者同士の交流も深まる機会となりました。

今年度デイサービスでは、「食べることは生きること」をテーマに、同講師による喫茶・栄養相談会を実施しました。

「最期まで自分の食べたいものを食べる」ことを目的に、健康維持やフレイル予防など日常に活かせる内容としています。

食事は人生の楽しみでもあるため、ご家族も参加可能とし、より良い関わり方をともに考える機会としています。



家族会 特別講演会 ～最期までおいしく食べるために～



家族会の特別講演として、「最期までおいしく安全に食べる」をテーマに、フリーランスの管理栄養士を講師に迎えて実施しました。

口の機能を保つことの重要性や、食事形態の工夫、水分・栄養の確保、口腔ケアの必要性について学びました。

日々のケアの積み重ねが、「最期までおいしく食べる」ことにつながります。

地域共生



施設サービス・在宅サービスの事業所内運営にとどまらず、地域と共に歩み続けています。施設サービス・在宅サービスをご利用されるお一人おひとりが、地域の一員として、住み慣れたこの地で暮らし続けることを大切にしています。

西富竹神楽

獅子舞は、獅子の頭を模した被り物で舞う、日本各地に伝わる伝統芸能です。

当日は地元の神社・神楽保存会の皆さまによる演舞が披露され、秋晴れのもと笛と太鼓の音色が響き渡りました。

無病息災や延命長寿、所内安全を願い、悪魔祓いと四方固めも行っていました。



東富竹諏訪社秋祭り

午前には育成会の子どもみこしが来所し、「ワッショイ!ワッショイ!」と元気な掛け声で利用者様を楽しませてくれました。

午後には神楽保存会の皆さまによる神楽囃子と獅子舞が披露され、無病息災を願い、厄払いをしていただきました。

盆供養

お盆は、ご先祖様の霊をお迎えし供養する日本人が大切にしてきた伝統行事の一つです。

この節目にあたり、地元・曹洞宗の信叟寺（しんそうじ）のご住職をお招きし、盆供養を執り行いました。

厳かな雰囲気の中、利用者様とともに手を合わせ、ご先祖様への感謝とご冥福をお祈りいたしました。



運営推進会議

地域密着型サービスでは、2月に1回活動状況を報告し、助言をいただきました。地域に開かれた運営で、サービスの質の確保を図ることを目的としています。

6

地域貢献 Community contribution



相互扶助



社会経済情勢の変化や少子高齢化（人口減少）の進展、自然災害が多発する今後の社会を展望すると、みんなで支え合っていくこと（互助）を再構築する必要があります。

「地域包括ケアシステム」の一員として、地域の支え合い体制づくりや地域住民の方に対する効果的で効率的な介護予防支援等を推進しています。

公開講座 ～人生の最期まで 自分らしい 豊かな生活を～

「人生の最期を考える～ACP（人生会議）に取り組む第一歩に～」をテーマに、長野市在宅医療・介護連携支援センターから講師をお招きし、研修を開催しました。入居待機者・申込者の皆さまが望む医療や介護を事前に考え、価値観に基づいた自分らしい生活の実現と、持続可能なまちづくりへの貢献を目指す取組として実施しました。



「人生の最期まで自分らしい豊かな生活を」
公開講座

自分が受けたいと思う医療やケアについて、事前に考え、自身の価値観に基づいた生活の推進を目的に開催します。
是非ご参加ください。

【講演】
“人生の最期を考える”
人生会議に取り組む第一歩に
地方独立行政法人 長野市医師会
長野市在宅医療・介護連携支援センター
社会福祉士 小林 裕子 先生

【その他】
希望実現の実践報告

令和7年
4月26日（土）
開会 / 10時
閉会 / 12時
場所 / 富竹の里
長野市大字 914-21 緑地
電話番号 : 026-296-7383

社会福祉法人 光仁会 富竹の里
KOUJINKAI TOMITAKENOSATO

アンケート結果



学生の施設見学

平成21年から信州スポーツ医療福祉専門学校介護福祉学科1年生のみなさんの施設見学を受け入れています。

先輩は後輩たちへの説明に力が入ります。

今回の施設見学を今後の学びに役立てていただければ幸いです。



住み慣れたまちで健康で暮らせるために ～施設スペースの無料開放～



平成30年12月より、地域住民の方に施設スペースを無料開放し、毎週約15名の方が介護予防運動に参加されています。

健康運動指導士により指導が行われていて、健康維持と増進につながっています。

生涯現役社会の実現に向けて、高齢者等の活躍できる地域づくりができればと考えています。

7

危機管理体制 Crisis management system



安全第一



私たちの住む日本は、その位置、地形、地質、気象などの自然的条件から、台風、豪雨、豪雪、洪水、土砂災害、地震、津波、火山噴火など、さまざまな自然災害が場所を問わず発生しやすい環境にあります。

今、命や財産を守る防災・減災、国土・国民強靱化の推進は、社会にとって重要かつ喫緊の課題です。

自然災害BCP研修（訓練） ～ 訓練は本番のように 本番は訓練のように ～

令和元年東日本台風で千曲川の堤防が決壊する5時間前のこと。

施設長は、若い女性介護職員に「協定施設までの運転をお願いしますか?」と尋ねた。

するとその職員は「訓練の時と同じようにすればいいんですよね」と間髪入れずに答えた。



5年前の10月12日、ぎりぎりであっても事なきを得たのは決して偶然ではなかったのです。
過去の経験と訓練、それに基づき作成した避難計画がとても役に立ちました。
「計画は作って終わりじゃない、始まり。常に確認と訓練が必要」です。

自然災害BCP研修（訓練） ～ 災害用伝言ダイヤル（171）～

皆さん、目を閉じて想像してみてください。

夜10時。
突然の地震。
そして停電。
スマートフォンは圏外。
何度かけても、電話はつながらない。
聞きたいのは、たった一言、
「大丈夫だよ」。
その言葉だけなのに…。

だからこそ、平時のうちに家族みんなで体験し、備えておくことが大切です。



災害伝言用ダイヤル (171)



自然災害アンケート調査結果2025

自然災害アンケート調査 集計結果 2025

【調査概要】
 調査目的：職員防災・減災意識の醸成、命を守る取り組みの推進
 業務継続計画（BCP）の見直し
 調査方法：オンライン等によるアンケート調査
 調査日：2026年1月1日～2026年2月20日
 調査対象者：職員100名

社会福祉法人光仁会富竹の里
 KOUJINKAI TOMITAKENOSATO

定期的に職員を対象にした防災・減災のための意識調査を実施しています。

アンケート調査からは、BCPの取り組みの進捗状況を確認できます。

私たちが今すべき研修内容、BCPの見直しすべきところが見つかります。

[自然災害アンケート調査結果](#)



自然災害BCPの見直し・公表

自然災害時にも事業を継続し、ご利用者及び職員の安全を確保するため、BCP（業務継続計画）を見直し、ホームページにて公表しました。

対応体制の整備や職員への周知・訓練を実施し、安全・安心な事業所運営の推進に努めています。

今後も継続的な見直しと改善を行い、信頼される施設づくりを目指します。



[【特別養護老人ホーム】自然災害BCP](#)

業務継続計画（BCP）

Business Continuity Plan

（自然災害編）

Natural disaster edition

施設名：特別養護老人ホーム富竹の里
 特別養護老人ホーム富竹の里和み
 富竹の里ショートステイホーム

社会福祉法人光仁会富竹の里
 KOUJINKAI TOMITAKENOSATO

台風発生時アクション・カード

1 台風の進路・勢力を予測せよ

- 1 気象庁での確認
- 2 上陸の恐れ、事業所への影響あり
- 3 災害対策本部の設置
- 4 台風警戒会議の開催

メンバー：役員、管理室、主任、他必要な者

- 令和元年東日本台風の歴史
- 防災備品の確認・補充（カセットトイレ）
- 屋外危険物の固定と撤去
- 参加可能な職員の確認
- 利用者の避難準備（決断・確認・周知）
- 避難訓練計画（事前・確認・周知）
- その他配慮すべき在宅利用者への周知
- 在宅事業所の営業判断（実務担当者等）など

- 5 給食委託業者等への連絡
- 6 災害協定施設との受援体制の確認
- 7 長沼住居自治協会の連携確認
- 8 地方自治体（市町村等）との連携確認
- 9 利用者家族への周知
- 10 その他必要な事項 など

地震時ファーストアクション・カード

1 安全を確保せよ

- 1 自分自身の安全確保を優先
- 2 利用者は揺れが収まるまでその場で待機
- 3 揺れが収まったらステーションに戻る
- 4 ヘルメット・マスク・手袋等を装着

2 情報収集せよ

- 1 責任者の決定
- 2 責任者はカギルーム（本部）から離れない
- 3 スタッフは施設内を巡回する

3 報告せよ（第一報・第二報）

- 1 責任者はスタッフからの報告を受ける
- 2 責任者は必要な場合のみ本部に緊急報告
- 3 責任者は第一報・管理者は第二報を作成
- 4 第一報・第二報を事務所（本部）に提出

テーマごとに整理したアクションカードを作成しました。

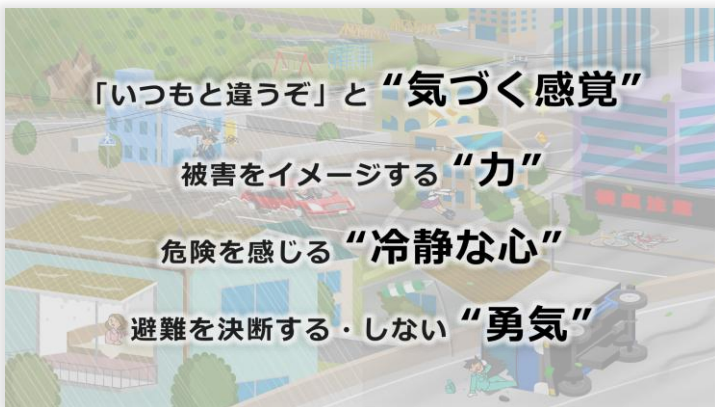
指揮命令を担う職員が常にいるとは限らない。現場で安全な判断ができるよう、枚数を絞り、文章も簡潔にしています。

分厚く“形だけ”のBCPでは、平時に活用されず、発災時にも役立ちません。

だからこそ、誰もがすぐ理解し行動できる実効性を重視しています。

現場で使えるBCPの整備を推進します。

災害史に学ぶ ～経験から得た教訓を防災・減災に活かす～



令和元年東日本台風から5年。私たちは教訓を伝えています。

[猪の満水災害デジタルアーカイブ](#)
[社会福祉施設等の水害対策検討会議の提言](#)

[社会福祉施設等の水害対策に関する研修動画](#)



防災イベント・他法人研修への協力

各種団体が主催する防災イベント・研修会に協力を
させていただいています。

普段から様々な方との連携を大切にしています。

「居安思危 思則有備 有備無患」



令和8年1月22日(木)
～実効性のあるBCPへ～
善光寺大本願福祉会 ケアプラザわかほ

令和8年3月15日(日)
～防災フェス 2026～
学校法人 高松学園 飯田短期大学

CHAPTER4 教訓を活かす

職員アンケートから見る「私たちの現在地」

守りたいものは 何ですか？

防災アンケートが示す
私たちの現実

DATA SOURCE
2025職員防災アンケート調査
社福 光仁会富竹の里 2026.1.1 n=100

長沼地区防災訓練への参加

長沼地区には、職員とその家族、
ご利用者も多くいらっしゃいます。

命を守るために、そして事業を継続
するためにも、地区コミュニティタ
イムラインに基づいた情報伝達や避
難行動などを知ることは、私たち福
祉事業者にとって、とても重要なこ
とです。

日頃から、もしもの時に備えた災害
に対する「心がまえ」と「顔の見え
る関係」を大切にします。

長沼地区住民自治協議会の皆さま、関係者の皆さま、ありがとうございました。



感染症対応（BCP）の見直しに向けて



感染症（BCP）・食中毒防止に
関する研修（訓練）を実施しま
した。

居室環境を再現し、曝露リス
クに応じた防護具の選択や手洗
いについて、実践的なシミュレ
ーション訓練を行いました。

課題を踏まえながら、実効性
のあるマニュアル及び感染症事
業継続計画（BCP）の見直しを進
めてまいります。

質の高い死



私たちは、ご利用者の人生の最終段階に寄り添い、その方らしいエンディングストーリーをともに築いていく役割を担っています。ご利用者やご家族との対話を通じて想いを丁寧にくみ取り、納得できるプロセスを支えることが私たちの責務です。

“百人いれば百通りの生き方、逝き方がある”

人生の最期まで尊厳ある生活（その人らしい暮らし）を大切に、ご利用者・ご家族の意向に沿った看取りケアを支援していきます。

看取り介護をさせていただいたご利用者数

事業所名	退所者数	看取り実施者数	看取り率
特別養護老人ホーム富竹の里	13人	7人	53.8%
特別養護老人ホーム富竹の里和み	3人	1人	33.3%
介護付有料老人ホーム上松ホーム	6人	6人	100.0%
合計	22人	14人	63.6%

看取り介護推進研修

“豊かな質の高い人生は、アルファにしてオメガである”



市職員・家族会・民生児童委員の皆さまにもご参加いただき、看取りケア研修を開催しました。

本研修では、「私たちの看取りケアを振り返り、これからを考える」をテーマに、これまで職員が一丸となって紡いできた実践を振り返りました。

人生の最期に寄り添う日々の中で、私たちが大切にしてきた想いと歩みを改めて見つめ直す時間となりました。

一方で、長寿化や少子化、家族構造の変化により、老々介護や核家族化、身寄りのない高齢者の増加といった現実にも向き合いました。

だからこそ、これからの看取りケアは、ひとつの施設だけで完結するものではなく、関係機関・行政・地域が手を取り合い、支え合いながら紡いでいくものです。

本研修を通して、その想いを共有し、これからの連携のあり方をともに確かめ合うことができました。



看取り介護推進研修資料



終の棲家でよく生きる ～ACPのカケラ集め～

人生物語の最終章“続編①”

西の空がまっ赤に夕焼け、刻々と光彩を変えている中、田んぼに到着。

Aさんは「ほたるの居る田んぼを創る」という、夢を諦めず希望を捨てず、長い年月を経て実現させた。

今日も“ヘイケボタル”が乱舞する美しい光景がそこにはあった。

今もなお、その志はたくさんの人々に受け継がれている。



「たとえ世界が明日滅びるとしても、私は今日、リンゴの木を植える」

大切な時間を自分のため、人のため、さらには何年も先の未来の人のために…。

Aさん、
“気づき”と“学び”をありがとうございます。

人生物語の最終章“続編②”

「ほたるの居る田んぼを創る会」と刻まれた表札が立つ田んぼを前にして、Aさんは表情を緩ませる。

4か月前にホテルが乱舞していたこの田んぼに「黄金色に実った稲穂」があった。

人生物語の最終章の続編はまだまだ続く。

さあ、次は田植えを見に行こう。



「決してあきらめない」

子どものころ、落ちているどんぐりの実をポケットに忍ばせていた時のように、自分だけの小さな願いを抱くことがある。

それは、施設に入ってからでも、そして死を間近にした時も同じで「ふるさとに帰りたい」「あの人に会いたい」など、さまざまである。



終末期を迎え、「孫の結婚式への参列はもう難しい」と諦めていたBさん。

しかし、医療と介護が連携し、体調をぎりぎりまで整えることで、無事に結婚式に参加することができ。

私たちのモットーは、大切な人と「時間」と「場所」を共有していただくこと。

ご本人とご家族の“望み”をかなえ、「より豊かで、質の高い人生」を送っていただけるよう、私たちは心を込めて支援しています。

第60回関東ブロック老人福祉施設研究総会 東京大会

東京都で開催された第60回関東ブロック老人福祉施設研究総会に参加し、発表させていただきました。

第1分科会

認知症対応/医療・介護連携、看取りです。

【発表テーマ】

最期まで自分らしい死合わせを求めて
“長く生きる”から“よく生きる”へ



会場でお聞きくださった約330名の皆さま、運営にご尽力された全ての皆さまに深謝申し上げます。

今後ご利用者のご家族に寄り添う支援を積み重ねます。

発表動画
YouTube



第58回関東ブロック老人福祉施設研究総会「優秀賞」 第2回全国老人福祉施設大会・研究会議「奨励賞」

【発表テーマ】

百人いれば百通りの生き方・逝き方がある
人生の最期まで尊厳ある生活
あの匂い・あの味・あの笑顔 ～一生忘れない～

発表動画
YouTube



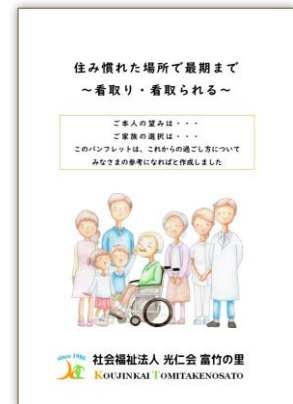
住み慣れた場所で最後まで ～パンフレット～

福祉施設での看取り介護をご利用者ご本人に代わって決断
するご家族の精神的な負担には、

- 選択時の迷いと重責
- 選択後の衰弱する姿への悲しみ
- 決断の動揺
- 最期の時が近いと覚悟する悲哀 などがあります。

それは、本人や家族の想いに寄り添う職員も同様です。

私たちは、[看取り介護パンフレット](#)を活用しています。



～私たちが、看取り介護で大切にしている考え方～

明日ありと 思う心の仇桜 夜半に嵐の 吹かぬものかは

「明日でいい」と思っていて、機を逃してしまうことがよくある。

先延ばしにすることで、その時の気持ちは薄れていく。

「明日」は「明後日」に

「明後日」は「いつか」に

「いつか」は「永遠」に

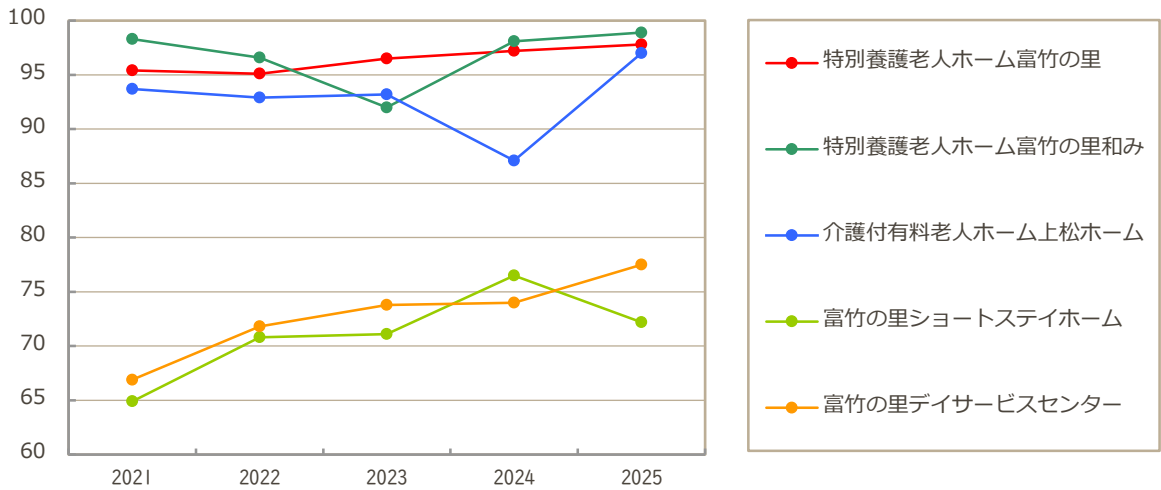
明日、自分や相手の命があるかなんてわからない。

だからこそ今を精一杯大切にしたい。

データ DATA

事業所毎の利用率

事業所名	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
特別養護老人ホーム富竹の里	95.4	95.1	96.5	97.2	97.8
特別養護老人ホーム富竹の里和み	98.3	96.6	92.0	98.1	98.9
介護付有料老人ホーム上松ホーム	93.7	92.9	93.2	87.1	97.0
富竹の里ショートステイホーム	64.9	70.8	71.1	76.5	72.2
富竹の里デイサービスセンター	66.9	71.8	73.8	74.0	77.5

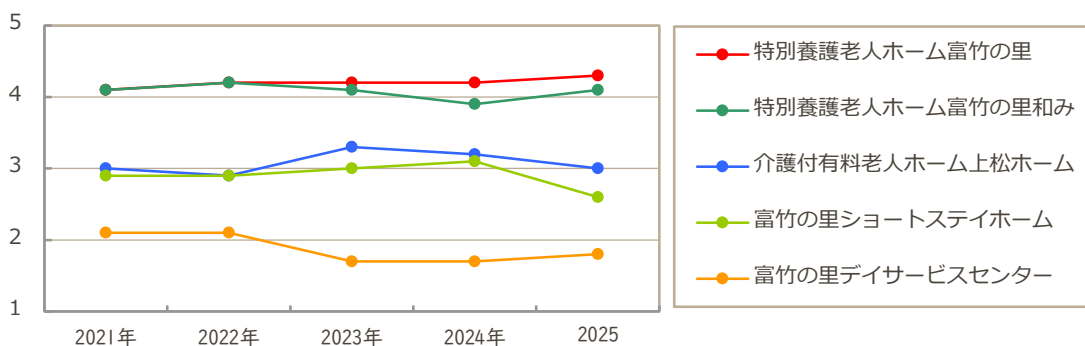


事業所毎の平均年齢

事業所名	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
特別養護老人ホーム富竹の里	88.0	87.0	88.4	89.0	88.8
特別養護老人ホーム富竹の里和み	89.8	91.1	88.5	89.0	89.1
介護付有料老人ホーム上松ホーム	89.5	90.4	91.1	91.2	92.1
富竹の里ショートステイホーム	90.6	90.9	90.7	90.3	89.3
富竹の里デイサービスセンター	88.3	88.1	88.9	88.9	89.2

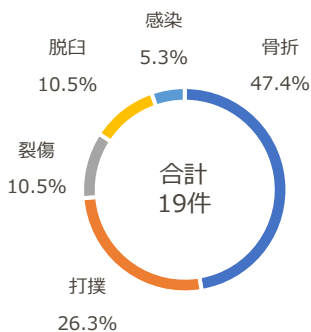
事業所毎の平均介護度

事業所名	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
特別養護老人ホーム富竹の里	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3
特別養護老人ホーム富竹の里和み	4.1	4.2	4.1	3.9	4.1
介護付有料老人ホーム上松ホーム	3	2.9	3.3	3.2	3.0
富竹の里ショートステイホーム	2.9	2.9	3.0	3.1	2.6
富竹の里デイサービスセンター	2.1	2.1	1.7	1.7	1.8



事故報告件数

種類	件数
骨折	9
打撲	5
裂傷	2
脱臼	2
感染	1
合計	19

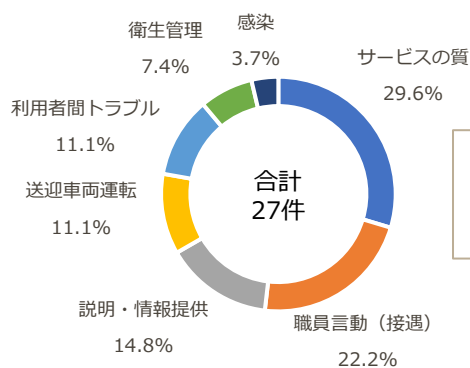


私たちは、長野市介護保険事故報告事務取扱要領に従い、介護保険サービス提供に当たり、以下の報告対象に該当する事故等が発生した場合は、長野市に報告を行っています。

1. 利用者が死亡または負傷※した場合
※負傷とは、医師の保険診療を要したものを。
2. 利用者が無届で外出し、警察・消防等に捜索協力を依頼した場合
3. その他事故により、利用者家族等から苦情が出ている場合

相談苦情件数

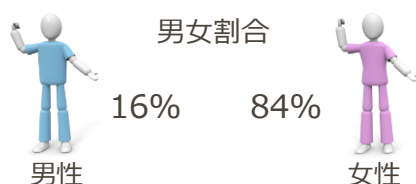
種類	件数
サービスの質	8
職員言動（接遇）	6
説明・情報提供	4
送迎車両運転	3
利用者間トラブル	3
衛生管理	2
感染対応	1
合計	27



苦情解決第三者委員会を開催し、発生したすべての相談・苦情・介護事故について報告し、助言指導を頂きました。

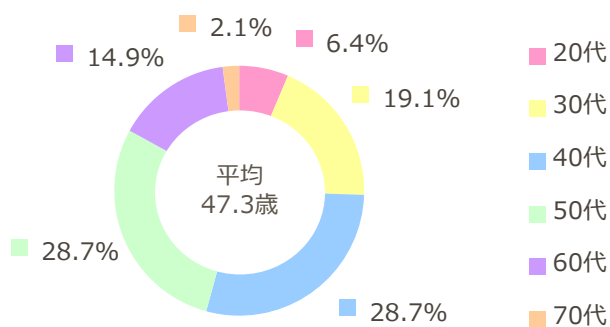
STAFFの数等

雇用形態	人数
常勤	81
非常勤	14



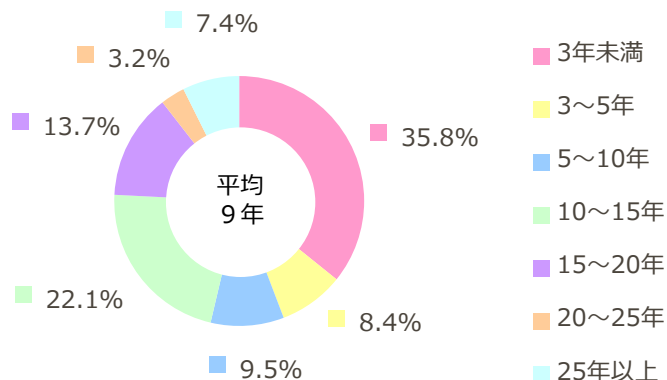
STAFFの年齢割合

年代	人数
20代	7
30代	18
40代	27
50代	27
60代	14
70代	2



STAFFの勤続年数

年代	人数
3年未満	34
3～5年	8
5～10年	9
10～15年	21
15～20年	13
20～25年	3
25年以上	7



事業所毎（介護職員）の介護福祉士保有率

	事業所名	保有率 (%)
①	特別養護老人ホーム富竹の里	95.6
②	特別養護老人ホーム富竹の里和み	100.0
③	介護付有料老人ホーム上松ホーム	86.6
④	富竹の里ショートステイホーム	95.6
⑤	富竹の里デイサービスセンター	90.9

主な資格保有者数

資格名	人数
介護福祉士	61人
社会福祉士	3人
精神保健福祉士	1人
介護支援専門員	12人
看護師（准看含む）	12人
保健師	1人
管理栄養士	2人
理学療法士	1人
衛生管理者	2人

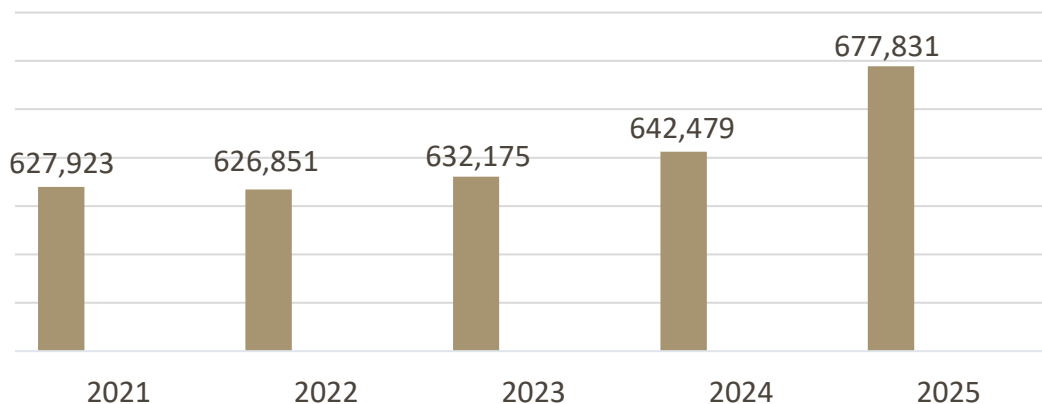
財務ハイライト Financial highlights



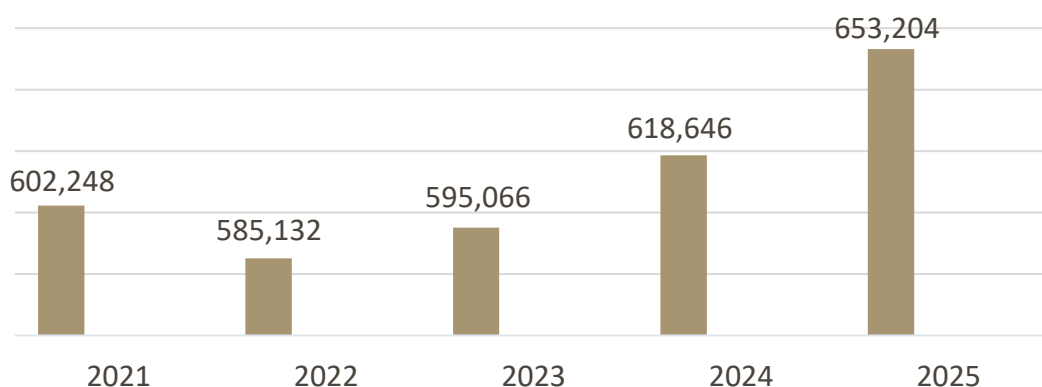
単位：千円

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
事業活動収入	627,923	626,851	632,175	642,479	677,831
事業活動支出	602,248	585,132	595,066	618,646	653,204
事業活動収支差額	25,674	41,719	37,109	23,833	24,627

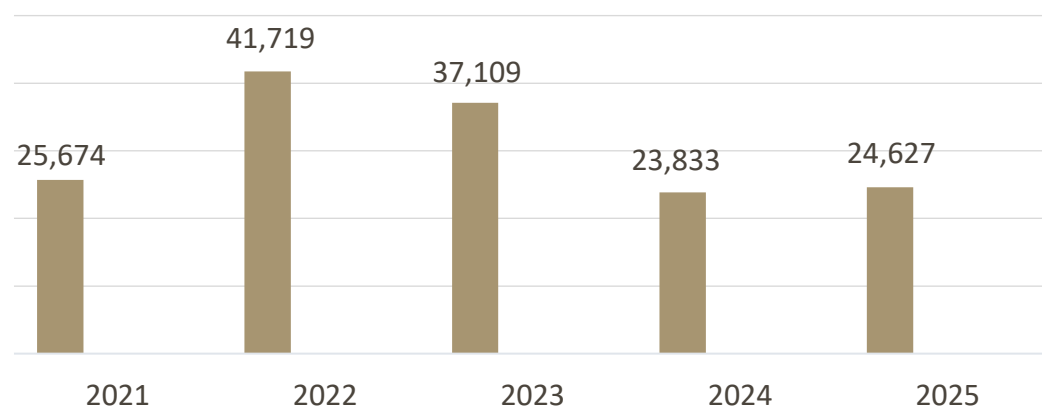
事業活動収入 Revenues



事業活動支出 Expenditures



事業活動収支差額 Total balance for the term



理事会・評議員会・評議員選任解任委員会 執行状況

開催年月日	場所	出席者	審議事項等
令和7年5月14日 理事会	決議の省略	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員選任・解任委員の退任及びそれに伴う新委員の選任 ・評議員選任・解任委員会の開催
令和7年5月23日 理事会	富竹の里	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業報告 ・令和6年度決算 ・新役員候補者の推薦案の決議 ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項 ・職員就業規則の一部変更 ・給与規程の一部変更 ・役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部変更 ・常勤役員災害補償規程 ・社会福祉法人光仁会富竹の里 旅費規程の一部変更
令和7年6月11日 定時評議員会	富竹の里	評議員9名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度決算の承認 ・令和6年度事業報告 ・役員を選任
令和7年6月11日 理事会	富竹の里	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長の選定 ・常務理事の選定
令和7年6月20日 理事会	決議の省略	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度臨時評議員会の開催
令和7年6月30日 臨時評議員会	決議の省略	評議員9名	<ul style="list-style-type: none"> ・役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部変更
令和7年8月5日 理事会	決議の省略	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・長野市地域包括支援センター富竹の里運営規程の一部改正
令和7年9月22日 理事会	決議の省略	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・給与規程の一部改定
令和7年10月14日 理事会	決議の省略	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・富竹の里 空調更新工事
令和7年11月15日 理事会	富竹の里	理事8名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度11月補正予算 ・次期評議員選任候補者の推薦 ・育児・介護休業、子の看護休暇、介護休暇、育児・介護のための所定外労働、時間外労働及び深夜業の制限並びに育児・介護短時間勤務等に関する規程の一部改正
令和7年12月11日 理事会	決議の省略	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・工事請負契約の締結
令和8年3月6日 理事会	決議の省略	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・食費改定に伴う運営規定の一部変更（6事業所分）
令和8年3月28日 理事会	富竹の里	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・3月補正予算 ・令和8年度事業計画書（案） ・令和8年度当初予算 ・経理規程一部変更 ・居宅介護支援事業に関する運営規程光仁会富竹の里介護支援センターの一部変更 ・苦情解決相談委員の選任

寄付金報告

退所された特養のご利用者ご家族1名の方から、5万円のご寄付を頂戴しました。

各事業所のトピックス Topics of each business office

特別養護老人ホーム富竹の里（定員56名）

富竹の里ショートステイホーム（定員8名）



ご利用者及びご家族参加型のサービス担当者会議を年間26回開催し、「その人らしさ」や「本人・家族の希望の実現」を重視したACP（アドバンス・ケア・プランニング）の取り組みとして「ACPのカケラ集め」を実施しました。また、安全性及び快適性の向上を目的として、ナースコール設備の更新を行うとともに、施設内空調の更新作業に着手し、より安心・快適な生活環境の整備を推進しました。

新型コロナウイルス：令和7年9月（ご利用者10名）

感染性胃腸炎：令和8年3月（ご利用者29名、職員10名）

退所者：13名、入院延べ日数：237日、空床数：222日

ご利用者の利用状況（R8.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
9人	46人	55人	103歳	56歳	14年	2年11か月

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	7人	27人	21人	55人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	年間延べ人数	1日平均
0人	0人	3,943人	8,712人	7,326人	19,981人	54.7人

（富竹の里ショートステイホーム）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	年間延べ人数	1日平均
0人	0人	515人	201人	369人	582人	436人	2,103人	5.7人



特別養護老人ホーム富竹の里和み（定員20名）



ご利用者及びご家族が主体となる担当者会議を計14回開催し、「その人らしさ」を尊重しながら、ご本人・ご家族の希望の実現に向けたACP（アドバンス・ケア・プランニング）の積み重ねに取り組みました。小さな想いや価値観の“カケラ”を丁寧に拾い集めることで、看取り期における意思決定支援の質の向上を図り、安心して最期まで過ごせる体制づくりを推進しました。また、職員主導で企画した夏祭りを開催し、ご利用者にとっては幼少期の家族との思い出や絆を振り返る貴重な機会となりました。日常のケアに加え、人生の背景や記憶に寄り添う取り組みを通じて、より豊かな生活支援の実現に努めました。

感染症発生：なし

退所者：3名、入院延べ日数：58日、空床数：83日

ご利用者の利用状況（R8.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
2人	18人	20人	100歳	73歳	12年	3年6か月

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	1人	3人	8人	8人	20人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	年間延べ人数	1日平均
0人	365人	1,492人	3,054人	2,306人	7,217人	19.7人



介護付有料老人ホーム上松ホーム（定員24名）



クラブ活動（音楽・書道・ちぎり絵・喫茶・衣類販売等）を新たに導入し、ご利用者の得意分野や楽しみを活かした生きがいづくりを推進し、生活の質の向上に取り組みました。あわせて、管理栄養士によるおやつ提供や外食、買い物、外出を実施し、「食」と外出機会の充実を図りました。また、広報誌の発行やブログの更新を通じて、施設の魅力を発信し、ご家族・地域・関係機関への周知に努めました。さらに、待機者の状況把握や営業活動を継続し、入居判定の前倒し等により空床期間の短縮を図ることで、安定的な利用率の向上・維持に取り組みました。

インフルエンザ 型：令和 年 月（ご利用者1名、職員1名）
退所者：6名、入院延べ日数：165日、空床数：98日

ご利用者の利用状況（R8.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
7人	17人	24人	100歳	72歳	10年6か月	2年2か月

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4人	6人	5人	5人	4人	24人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
1,469人	2,070人	1,395人	2,254人	1,474人	8,662人	23.7人



富竹の里デイサービスセンター（定員35名）



年間稼働率は目標85%（30名/日）に対し、通年で約80%（28名/日）前後で推移し、前年度74.0%（25.9名/日）から着実な改善が見られました。登録率は97.0%と高水準を維持していますが、全国平均68.4%や赤字事業所が多い現状から、通所介護を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況にあります。

職員体制は入退職とともに例年並みで推移し、一時的に特養への応援派遣も行いました。感染症対策では2月に利用者7名の感染が確認されましたが、基本的対策の徹底により職員への感染拡大は防止し、事業は継続しました。一方で感染予防を理由とした利用控えの傾向は継続しています。行事は年間計画に基づき概ね実施でき、外部ボランティアの受入れも継続し地域との関係づくりを図りました。機能訓練では理学療法士を配置し、個別訓練や家屋調査を強化、ADL維持等加算を継続するとともに中重度者ケア体制加算も再開しました。食費は物価上昇に伴い段階的に見直し、内容維持の観点から概ね理解を得ました。

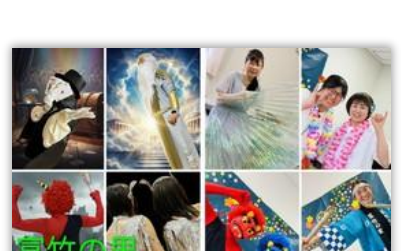
ご利用者の利用状況

【介護保険・相当サービス】

- ・新規契約者：29名（昨年度比+3名）
- ・契約終了者：30名（昨年度比+14名）
（死亡16名、特養入所7名、その他入所 5名、他事業所へ変更2名、転居0名）

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
34人	169人	577人	4,010人	1,084人	1,355人	730人	462人	8,421人	27.1人

中重度の割合：33.0%、稼働日数：310日



光仁会富竹の里介護支援センター



ご本人に適したケアマネジメントを常に意識し、医療機関や関係機関と連携しながら相談・調整・会議等を実施し、各種研修や自己研鑽にも継続して取り組みました。新規契約では地域包括支援センターや病院に加え、ご家族や事業所からの直接依頼も増加し、認定前からの早期介入により円滑な在宅生活の実現に努め、延べ100回以上の加算算定につながりました。受け持ち件数の増加に伴い職員を増員し体制を強化するとともに、ICT導入の検討を進め効率化と満足度向上を図

りました。終了契約42件では看取り支援も含め、その人らしい最終段階の生活を支援し、入所入院時も関係機関と連携し円滑な移行に努めました。尊厳の保持と自立支援を基本に、認知症や虐待にも配慮し、多職種連携のもと適切な居宅介護サービス計画の作成を行いました。

ケアプラン作成件数等

介護給付 介護予防給付 介護予防ケアマネジメント（総合事業）	延べ1,163件 延べ135件 延べ51件	【契約終了内訳】 ・ご逝去6名 ・特養入所3名 ・事業所変更9名 ・グループホーム入所4名 ・介護付有料老人ホーム3名 ・老健長期入所2名 ・長期入院5名
新規利用（介護） （介護予防） （介護予防マネジメント）	48件 3件 3件	
入院時連携加算 退院・退所加算 初回加算(2段階変更、再開含む) 通院時情報連携加算	33回 11回 48回 2回	
契約終了	42件	

長野市地域包括支援センター富竹の里



地域包括支援センターは、高齢者の皆様に対する福祉・保健・医療に関する総合相談窓口として、社会福祉士、保健師（看護師）、主任ケアマネジャーの専門職を配置し、各種事業を実施しました。

1. 総合相談支援事業高齢者本人及びその家族、地域住民からの生活全般に関する相談に対応するとともに、認知症に関する相談にも応じました。相談対応を通じて高齢者の実態把握を行い、支援が必要な方やその家族に対処し早期対応に努めました。
2. 権利擁護事業支援が必要な高齢者が適切な福祉サービスや金銭管理支援を受けられるよう、成年後見制度の活用支援を行いました。また、高齢者虐待の未然防止及び対応に取り組むとともに、消費者被害防止のための情報収集および情報提供を実施しました。
3. 包括的・継続的ケアマネジメント事業ケアマネジャーの資質向上を目的とした研修会を年2回開催し、日常的にケアマネジャーからの相談に対応しました。認知症施策として、古里地区において「宙力カフェ」を年間12回開催し、柳原地区では柳原支所にて「おひさまどんぐりカフェ」を年間6回開催しました。
4. 介護者教室・介護予防教室各地区において、介護者教室及び介護予防教室をそれぞれ1回以上開催し、地域における介護力の向上及び介護予防の推進を図りました。
5. 介護予防ケアマネジメント事業介護保険における要支援1・2認定者及び事業対象者に対し、適切なサービス利用に向けたケアプラン作成支援を行いました。

相談受付方法と件数

	来所	電話	訪問	合計
勤務時間内	46件	364件	81件	491件
時間外	1件	0件	0件	0件
ケアマネ相談	6件	21件	4件	31件
合計	53件	385件	85件	523件

相談内容と件数

相談内容	件数
介護保険関係	353件
住宅福祉サービス	84件
施設・住まい	21件
医療	11件
高齢者虐待	11件
成年後見制度	7件
苦情対応・調整	2件
消費者被害	2件
介護者離職防止	1件
その他	31件
合計	523件

ケアプラン作成件数等

総合事業基本チェックリスト実施数	23件
介護予防給付件数	2,952件 うち委託727件
介護予防ケアマネジメント（総合事業）	1,802件 うち委託179件
高齢者実態把握相談支援台帳作成件数	39件
個別地域ケア会議開催回数	3回

主な会議・研修会への出席

会議・研修会	回数
民生委員定例会（古里・長沼・柳原地区ケア会議）	35回
長沼地区地域ケア会議・ネットワーク会議	5回
管内（古里・長沼・柳原地区）ケアマネジャー連絡会（7月・11月）	2回
長野市高齢者虐待防止ネットワーク運営協議会への出席（社会福祉士）	2回
地域密着型サービス運営調整会議への出席（計11事業所） （ケアライフ柳原・柳原ふれあい荘・グループホーム太陽・グループホームフランセーズ悠柳原・グループホームながめま・特別養護老人ホーム富竹の里和み、デイサービスねむの木、エフビー柳原デイサービス・デイサービスふらっと柳原・デイサービスながめま・看護小規模多機能あったかホーム柳原）	52回
柳原地区ふくしネットワーク会議（富竹の里主催）	4回
認知症カフェ「オレンジカフェどんぐり」「おひさまカフェ」（柳原地区住民自治協議会主催）	6回
認知症カフェ「宙カフェ」（古里地区住民自治協議会主催）	12回
古里地区地域ネットワーク会議	1回
包括支援センターの役割説明会12月（柳原小学校）	1回
認知症サポーター養成講座（古里・長沼・柳原地区住民自治協議会主催）	4回
古里地区「介護者のつどい」「ふくし大会」（古里地区住民自治協議会主催）	2回
退院支援・在宅移行支援検討ワーキンググループ参加（長野市民病院・長野赤十字病院主催）	3回

介護者教室・介護予防教室

実施日	会議・研修会	参加者数
令和7年 8月 4日	楽しく食べることの大切さ	12人
令和7年 8月26日	小規模多機能型居宅介護とは～認知症の方の総合的なサービス利用～	17人
令和7年10月 7日	男性のための介護職教室	6人
令和8年 2月16日	人生会議についての理解（もしバナゲーム）	11人

社会福祉法人光仁会富竹の里

発行 2026年5月

発行責任者 嶋田直人

〒381-0006

長野県長野市大字富竹1621番地

TEL026-296-7383

<http://tomitake-carenet.com>

